

入試なしで!? 大学生

# 「学びたい!」と思った時は はじめどき

文化学部では、県民の生涯学習支援を企図して、「県民開放授業」を開講してきました。  
平成26年からは文化学部と地域教育研究センターが共同で、さらにパワーアップした「高知県立大学県民開放授業」をお届けします。

ある種の知的能力(結晶性知能・知恵など)は高齢期にも向上させつづけることができます。

生涯学びつづけ、  
生涯発達  
しつづけましょう。

地域教育研究センター  
生涯学習部会長  
宇野 浩三



90分キャンパス

# 県民開放授業



## この歳で学生気分を味わえるのは 受講生の“Privilege(特権)”ですね。

県民開放授業受講のきっかけは、ボランティアで関わっていた高知SGG善意通訳クラブの仲間から県立大学の県民開放授業の話を知ったことです。そこで五百蔵先生の授業の魅力などを耳にし、退職したらぜひチャレンジしたいと思いました。英語は昔から好きで、趣味としてラジオや英字新聞で勉強していました。クラブの仲間と一緒に受講し始め、その楽しさを語るうちに受講を始めた方もいらっしゃいます。

県民開放授業で翻訳の際の辞典の活用方法について学んだことで、SGG善意通訳クラブでの活動の際の自信にもつながっています。学生時代から何十年も経って、今またこの歳で、大学の授業に参加できるなんてPrivilege(特別な権利)な体験だと感じています。若い学生と学ぶことはとにかく楽しい!“もう卒業です”と言われるまでは続けたい(笑)。生涯学んでいきたいですね。

学びへの意欲には  
いつも関心します。

文化学部 教授  
五百蔵 高浩

矢野さんは普段から英字新聞を読み英語放送を聞くなど、使える英語力をいつも磨いていらっしゃいます。私にとっても「もっと頑張ろう」という気持ちを起こさせてくれる存在です。さらに、学生にとっては進路についても相談できる、愉快で強い味方です。



受講学生  
矢野 洋一さん

会社員時代から、観光ガイド「高知SGG善意通訳クラブ」で英語力を活かして活動され、2008年より英語や英文学を中心に県民開放授業の受講歴7年の受講学生です。



# 公開講座

公開講座は大学の教育・研究成果を  
県民の皆様に還元し、広く学習の場を提供する  
ために実施している取り組みです

90分キャンパス  
※最大120分

まず気軽に学びたい方へ  
今年も多数の魅力的な講座をご用意しています。

詳しくは高知県立大学ホームページへ

高知県立大学 公開講座

検索

<http://www.u-kochi.ac.jp/use/ol.htm>

これまでに開講の公開講座のテーマ(一部)

地域活性化フォーラム  
「ご近所力で“地域は家族!”の地域づくり」

文化学部 日本学レクチャーシリーズ  
「日本文化におけるKABUKI」

高知県立大学健康長寿センター 体験型セミナー  
「認知症」についてどのくらいご存知ですか?

入試なしで!? 大学生  
学ぶココロ、  
ココロココロ、  
くすぐる講座



# キャリアアップ 応援チャンネル 1

## 社会のニーズに応じた 教育学習プログラム

### 履修証明プログラム

履修証明制度は、社会人の大学での学びの機会の充実を目指す制度です。テーマに基づき編成された120時間以上のカリキュラムを受講することで、体系的な知識・技術の修得を目指します。

書類審査  
+  
面接で選考

人として☆より○になっていきたい！  
そのために、一所懸命学びます！

FMラジオのパーソナリティーの仕事や司会の仕事をしているので、アウトプットの多い日常を送っていました。そんな時、気軽に受講した県民開放授業を機に「もっと勉強したい！」と思うようになり、現在は履修証明プログラムを受講しています。今、学生として学び直すことがインプット作業となり、アウトプットばかりだった自分を回復しているように感じます。昔、仲の良い友達から「あなたは、人間としてのバランスが☆(星)やね。秀でている部分もあるけど、トゲがある！」と言われたことがあり、その言葉

に自分でも納得しているところがありました。しかし、これからの人生もっと自分のいろいろな可能性に挑戦するという意味でもたくさん勉強して多角的に興味を持ち、さまざまな事を学ぶ中で、頭も心も身体も、まだまだ使い切っていない部分をたくさん使って幅のある○(円)に近い人間になっていきたいと考えています。今は文化学部編入学をし、袴を着て卒業することを目標に、レポート課題に四苦八苦する毎日です。

#### 大黒 久美子さん

短大卒業後すぐに20歳で自称フリーアナウンサーに。現在はFM高知のパーソナリティー、司会を務めながら、県立大文化学部への編入学を目指し勉強中。「土佐学プログラム」の学びはお仕事にも活かしているそうです。

※平成26年度の「土佐学プログラム」の受講料は50,000円です。

### 1科目から単位修得可能

## 科目等履修生制度

本学開講科目の中から、ご自身の必要や関心に応じて科目を受講でき、単位修得が可能です。単位修得証明書または成績証明書が交付されます。

書類審査  
で選考

# キャリアアップ 応援チャンネル 2

※1単位あたりの受講料は14,800円です。  
(他に入学料等が必要です)

高知短期大学を卒業後に編入学。  
学びをもっと深めたくて！

### 文化学部 3年次編入学制度 (昼間に履修する学生)

本学以外の大学や短期大学等で学業を修め、人文・社会系の学びを深めたい方を対象に、学士の学位の他、教員免許(中学校・高等学校の国語科・英語科)や日本語教員資格の取得も可能な文化学部への編入学制度です。

#### 中山さんの場合



人間生活学研究科 1回生  
**中山 由美さんのCASE**  
「子育てが終わって、純粋に勉強したかった」  
東京女子大学短期大学部を卒業後、大学編入学を考えましたが編入学試験は英語と論文が必要で、英語を自己流で学ぶのには限界があると感じ、まずは2年間高知短期大学で英語を中心に学びました。卒業を目前に「チャレンジありのみ」で、編入学試験に臨み無事大学生になることができました。文化学部編入学した後は2年間で99単位を取得しました。朝8時から夜9時過ぎまで大生に在る感じで大変でしたが、とても幸せな2年間を送りました。現在は、人間生活学研究科で英語学を学んでいます。

高知県立大！  
深い学びもおまかせください。

これが私の学ぶ道



#### 人間生活学研究科 1回生 高橋 美由紀さんのCASE

「学びたい」という気持ちに引っ張られ、  
編入学、県民開放授業、大学院まで。

高校卒業後、音楽教室で子どもたちにエレクトーンを教える中で「幼児教育を学びたい」と思ったのをきっかけに、高知女子大学保育短期大学部で学びました。その後、保育士として働いていましたが、「もっと学びたい」という思いから高知女子大学(現 高知県立大学)へ3年次編入学し、日本文学を学びました。卒業後も学ぶ楽しさが忘れられず、県民開放授業を3年間受講しました。県民開放授業を受ければ受けるほど「もっと学びたい」という気持ちが高まって、今は大学院で源氏物語について研究しています。人生のいろいろなポイントで、もっと学びたいという思いに引っ張られ、それを受け止めてくれる大学や丁寧に指導くださる先生方、周りの環境に恵まれて、学び続けています。

### 県民開放授業をきっかけに 学びのおもしろさに目覚め、 大学院へ！

## 高知県立大学大学院

大学時代に学んだことを基礎として、さらに研究を進めていく学生たちが日々勉学に励んでいます。看護学研究科、人間生活学研究科、健康生活科学研究科\*の3つの研究科があります。

\*健康生活科学研究科は募集を停止いたしました。

長い人生を後悔しないために、日々奮闘中です!



「大学生」という選択肢は就職しましたが、持病があり、その後の人生を考え迷っていました。「周りは仕事をしているのに」と、初めはもう一度学生になることに悩みました。しかし、これからの人生の方が長いので、後悔しないように挑戦することにしました。自分と同じように健康に不安のある人を支えられる職業の一つである、管理栄養士の道を目指しています。

当初は専門学校への入学を検討していたのですが、夏ごろに県の広報紙で高知県立大学の社会人入試開始の情報を知り、11月の入試に向けて、苦手な生物や化学を中心に勉強し準備しました。入学が決まって、他の学生に馴染めるようにと、入学式前日の新入生歓迎会へ参加したりと努力もしましたが、心配には及ばず、同じ目標を持つ学部生と先生方は強い結束力があるように感じています。入学して4カ月の学生生活で感じるのは、健康栄養学部の専門的な

学びのレベルの高さです。現在は、他大学で単位取得済みの共通教養教育科目については振り替えが可能のため、必修科目を中心とした時間割になっていきますが、管理栄養士と栄養教諭の資格取得を目指して日々奮闘中です。社会人入試を検討されている方には、「学びたい」という強い気持ちがあるならそれをぜひ、貫いてもらいたいですね。周りの協力も必要になります。が、目標を達成していく前向きな力が恩返しになっていくと思います。

## 社会人入試出願資格

文化学部、看護学部、社会福祉学部、健康栄養学部のすべての学部で社会人入試を設けています。各学部の主な出願資格は以下のとおりです。詳細は学生募集要項をご覧ください。

### 文化学部

大学入学資格を有し社会人経験を2年以上有する者

### 看護学部

看護職として卒業後社会に貢献する意欲のある者のうち、以下のいずれかに該当するもの

1. 大学入学資格を有し社会人経験を5年以上有する者
2. 短期大学を卒業し社会人経験を3年以上有する者
3. 大学を卒業し社会人経験を1年以上有する者

### 社会福祉学部

将来、保健・医療・福祉関係業務に従事することを希望する者のうち、大学入学資格を有し社会人経験を2年以上有するもの

### 健康栄養学部

管理栄養士として卒業後社会に貢献する意欲のある者のうち、以下のいずれかに該当するもの

1. 大学入学資格を有し社会人経験を5年以上有する者
2. 短期大学を卒業し社会人経験を3年以上有する者
3. 大学を卒業し社会人経験を1年以上有する者

# 学ぶ理由。

## 社会人入試 私がもう一度

元々団体職員をしていたのですが、結婚し妊娠、産科を2箇所受診しましたが分娩予約が取れず、高知の産院不足を実感しました。その後、受け入れてくださった病院の助産師さんの食事指導や母親教室、出産後の関わりで感激し、助産師を目指す意志が固まりました。実は高校生のころから看護の世界に興味を持っており、当時から、看護の道を目指すなら高知女子大学(現高知県立大学)

だと思っていました。何年かかってもセンター試験に挑戦する覚悟を決めた時、新聞で社会人入試の開始を知り、家族に相談をして受験を決めました。看護学部の試験内容は、小論文・面接によるもので、小論文については塾で指導を受け試験に臨みました。この他にも家族・友人・高校時代の恩師の支えがあったことで無事合格することができました。

入学料や授業料については退職金の他、家計に負担が少なくなるよう、奨学金や授業料免除も利用していくつもりです。自分のお産をおし、「お母さんにとって、その子の出産は一度きり」であることを痛感しました。その一度きりの出産を、満足したと感じられるお産になるよう一緒に考え、母子の心に寄り添える助産師になることを目標にしています。

私のための制度かと思いました

助産師になって命の誕生の瞬間に立ち合いたい!!



## 社会人入試とは

新たな知識や能力を修得したいという旺盛な学習意欲を有する社会人や、学び直しにより新たな領域で活躍したいと希望する社会人に対し、大学の門戸を開くことを目的とした入学試験のことです。

2014年9月現在、看護学部2人、社会福祉学部1人、健康栄養学部に1人の学生が在籍し、一般の学生と共に、日夜勉学に励んでいます。

# 専門家による専門家のための学び、たくさん

全国トップクラスの学びを受けたプロフェッショナルたちが、その学びを県内に還元しています。

## 看護学部 〈看護学科〉

### 高知県立大学の看護教育は日本最先端の看護！ 県民へ、そのスキルを！

昭和27年創立の伝統ある看護学部では、世界や全国に先駆けた看護教育をとおし、数多くの優秀な人材を育成しています。最先端の取り組みの一つとして現場で働く保健医療に携わる皆様への最新の看護の知識と技術修得の場を提供することにも力を注いでいます。学部教員による各専門領域の学びはもちろんのこと、専門職者による患者さんやそのご家族への多様なケアの在り方を検討する機会の提供など、県民の皆様と密接に関わっている専門職者を通じて、県民の健康を支えています。

#### ●看護学部が実践するさまざまな学び・研究・探究の取り組み

##### リカレント教育で専門性をアップ

高知県内の保健医療に従事する皆様や、卒業生、修了生を対象に、ニーズに応じたさまざまなリカレント教育を行っています。各領域でのリカレント教育、大学院修了生の交流集会、公開講座や研修会などとおして、専門職としての能力を向上させるための多様な学びの場を提供しています。



##### 現場の思いや情報を共有するケア検討会

11の専門領域でケア検討会を開催し、高知県内の保健医療に従事する皆様と共に、各専門領域に関する情報交換や事例検討を通じてケアの質を向上することを目指しています。事例検討では、意見交換とおして事例に対する理解を深め、さまざまな観点からケアの方略を探り、解説を含めた講義を行います。これらは現場で働く専門職者と共に探究し、学ぶ機会となっています。



##### 最新看護実践講座、大学院特別講義で最先端の看護へ

最新の看護実践に携わる第一人者を講師にお迎えして、看護の実践や研究について広く学ぶ機会を提供しています。本学の学部生や大学院生だけでなく、地域の看護専門職の皆様や修了生と共有し、看護の質を向上するための講座を実施しています。



## 健康栄養学部 〈健康栄養学科〉

### 管理栄養士合格率100%に向けて 確かな取り組み

健康栄養学部生の栄養士免許、管理栄養士国家試験受験資格の取得サポートはもちろん、高知県栄養士会と協働で管理栄養士国家試験に挑む県内栄養士の試験対策サポートも実施しています。



## 社会福祉学部 〈社会福祉学科〉

専門職者と県民が共に考えると  
より実践的な学びになる！

社会福祉の専門職従事者や学部卒業生にとっての具体的な事例を取り上げた再教育の場を設けています。一般市民にとって決して縁遠くない、社会福祉への理解を促すことを目的に、社会福祉に関するさまざまな内容で、年4回の講座を健康長寿センター事業として開催しています。



## 文化学部 〈文化学科〉

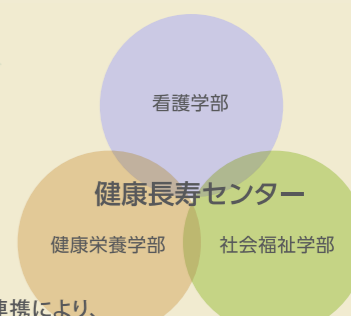
学びの成果を地域へ還元！  
豊かな教育サイクルを全力サポート！

地域に学び、地域に還す。そんなface to faceの学びを実践しています。リカレント講座(教科等研修)では、各分野の研究成果を踏まえ、理論面だけでなく具体的で応用的な活動を取り入れた学びのリフレッシュ体験を味わっていただき、現職教員の実践的な指導に役立つ講座を高知県教育センターとの共催事業で実施しています。



## 健康長寿センター 関連学部が連携して、「日本一の健康長寿県」を目指し、 県民の健康長寿を促進します！

「日本一の健康長寿県」を目指し、健康長寿を促進するための活動を行う「健康長寿センター」。池キャンパスに拠点を置く看護、社会福祉、健康栄養の3学部をはじめ、高知医療センター等との連携により、高知県内の保健・医療・福祉に関わる地域の方々と協働して、保健・医療・福祉分野の人材育成、専門職者の知識や技術の向上を図るための事業を行っています。全国のトップを走る看護教育や、高度で専門的な高知県立大学の学問の成果を県民の皆様へ還元し、「日本一の健康長寿県」を目指します。



#### 例えば…

##### 地域医療フォーラム

地域で療養する人々の医療と生活への支援を担う、医療(栄養)・看護・福祉(介護)などの関係者の連携強化と、資質の向上を図ることを目的に、各専門職の視点から、県外で活躍されている訪問看護師、管理栄養士、介護福祉士の方々による、実践活動におけるチームケアについてのリレートークなどを実施し、医療保健関係者だけでなく、一般の方々にも多数参加していただきました。

